

## J-RACE2026 総括

J-RACE2026 は、第 13 回学術集会の翌日である 2026 年 4 月 26 日に、都市センターホテルで実施されました。試験では知識問題 50 問、臨床問題 50 問の計 100 問が出題されました。不適切問題 1 問を除外して採点した結果、99 問中、最高点 73 点、平均点 50.8 点、合格者数 169 名、合格率 57.9%でした。平均点は昨年より低く、試験全体の難易度はやや高かったと考えられました。

出題範囲は教育ガイドラインに沿って幅広い領域から構成され、歴史に関する問題も例年通り含まれていました。また、臨床研究の実施に必要な統計学や医療倫理に関する問題も出題されました。区域麻酔に必須となる局所麻酔薬については、専門的知識を問う基礎医学的内容や合併症に関する問題がみられました。

解剖分野では、神経の走行や支配領域に関する問題が例年通り出題されました。さらに、区域麻酔に関連する機器・医療材料として、放射線・放射線防護、超音波、神経刺激装置、ブロック針に関する内容も含まれていました。超音波ガイド法については、針の描出、画質調整、画像解釈、超音波解剖など、基礎的事項が毎年継続して出題されています。

各領域の区域麻酔としては、上肢、下肢、体幹、頭頸部、脊髄幹に加え、静脈内区域麻酔、高齢者、小児、産科、ペインクリニック、緩和ケアに関する問題が出題されました。特に頭頸部の区域麻酔、ペインクリニック、緩和ケアに関する問題の正答率は低く、これらの領域に不慣れな受験者が多かった可能性が示唆されました。

幅広い分野から出題される傾向は維持されていましたが、昨年出題された保険診療に関する問題はみられなかった一方で、今年は放射線関連の出題が増加していました。

今回、受験申し込み方法として初めて抽選制を導入しました。時間的余裕をもって申し込みが可能となった一方、抽選の結果、受験できなかった方もおられました。今回抽選で受験できなかった方については、J-RACE2027 の申し込み時に配慮される予定ですので、ぜひ再度お申し込みいただきたいと思います。また、今回残念ながら不合格となった方にも、改めて J-RACE へ挑戦していただければ幸いです。

J-RACE2027 は来年の学術集会翌日の開催を予定しております。

2026 年 5 月 29 日

検定試験委員会